南九州市

大久保集落営農組合

自治会長 東 篤 氏

晩秋のひまわりで明るい集落に

田畑に、晩秋のひまわりが咲き誇る大久保集落。集落の宝である暮らしの中の美しい田園風景を守るため、平成23年に「大久保集落営農組合」を設立。翌年から休耕田と耕作放棄地を活用した「晩秋に咲くひまわり」の植栽事業が始まった。毎年11月には「ひまわり祭り」を開催し、手作り料理のふるまいや農産物販売、フォトコンテストなどで、訪れた人との交流を深めている。

「過疎高齢化には負けない」という気概で、自信と誇りを持てる地域づくりを目指している。

フォトコンテスト入賞写真
※一例

■天狗伝説の里「楽しい家（や）」

天狗伝説が残る大久保集落にある農家民宿。修学旅行の受け入れから「あくまき作り体験」などを行い、集落の魅力を伝えている。

■大久保ふるさと便り

集落の活動や住民の近況まで、細かな大久保集落の情報を発信する情報誌で、集落の絆を深めている。

★大久保集落営農組合　鹿児島県南九州市川辺町本別府6661
電話/0993-57-3428（東篤）

宿利原（やどりはら）地区公民館

錦江町

■大根やぐらライトアップイベント

宿利原地区の産業の要、寒干し大根。「大根やぐら」をライトアップして、地区のPR活動を展開。幻想的な夜は、他の地域にはない美しさ。

■やまんなかスクールマルシェ

旧宿利原中学校跡地で開催される「やまんなかスクールマルシェ」には、約20店舗が出店し、地域内外の異業種交流の場を担っている。

★宿利原地区公民館　鹿児島県肝属郡錦江町神川7258-1
電話/0994-22-3036
（錦江町役場産業振興課）

大根やぐらが灯す暮らしの光

宿利原地区の冬の風物詩、「大根やぐら」。錦江湾から吹き上げる寒風が、良質な寒干し大根に欠かせない。平成20年に地域を盛り上げようと始まった「大根やぐらのライトアップイベント」で地域づくりの火が灯った。現在、廃校跡を活用した「やまんなかスクールマルシェ」などの活動を行いながら、地域内外の異年齢・異業種交流を活性化させながら、地域の若手や女性部を中心とした、新たな人材や資源発掘を行い、スモールビジネスの展開を目指している。

公民館長 笑喜 和則 氏

南九州市

農事組合法人たべた（田んぼアート実行委員会）

会長 大薗 秀己 氏

アートと郷土芸能で繋ぐ地域の絆

地域の農業を支えようと様々な事業に取り組んでいる「農事組合法人たべた」。平成23年から取り組んでいる田んぼアートでは、農業の楽しさや親しみを感じてもらおうと農業体験ツアーなども実施。アートの見学者も年々増加し、7月下旬頃から9月中旬頃の期間中、来場者は10,000人を超える。田んぼアートを通して新たな商品開発や地域住民の集う場所として夕涼み会なども企画し、地域一体となった行事に育てていこうと地域活性化に取り組んでいる。

■田んぼアート

約4,000平方メートルの田んぼをキャンバスに、5品種の苗を植えて描かれるアート作品。事前に田植えイベント（昼食の振る舞い有）なども行われている。

■田部田棒踊り

毎年12月の第1日曜日、田部田鎮守神社に奉納される六尺棒を使った6人一組の棒踊り。伝統芸能を受け継ごうと、子ども達も一緒に棒踊りに参加している。

★農事組合法人たべた（田んぼアート実行委員会）　鹿児島県南九州市川辺町田部田4357
電話/090-8353-8837（大薗）

中津川区公民館

さつま町

■金吾様踊り

年に一度の秋季大祭に奉納される踊りで、「兵児踊り」や「鷹刺し踊り」など、集落ごとに継承される異なる踊りを総称して「金吾様踊り」と称している。

■地域特産品を活用した加工品

中津川地区の特産品であるさつまいもを活用した「お茶請けセット」や、苺を使った「苺大福」などを試作している。

★中津川区公民館　鹿児島県薩摩郡さつま町中津川2009
電話/0996-57-0884（中津川区交流館）

金吾様が紡ぐ地域と世代間交流

織田・豊臣時代に栄えた祁答院島津家初代・島津歳久公を厚く崇敬する中津川地区。大石神社に祭られている歳久公は「金吾様」と呼ばれ、神社では年に一度の秋季大祭に「金吾様踊り」が奉納されている。平成15年、「金吾様踊り活性化実行委員会」を立ち上げ、一度途絶えた踊りを復活させるなど、「金吾様踊り」を核に地域が一丸となり、活性化を推進している。地区では世代間の交流が深まり、さらに、町外、県外までも「金吾様踊り」ファンが増えている。

公民館長 丸口 憲一 氏

金吾様踊り活性化実行委員会 代表 今東 清光 氏